

「自然災害伝承碑」の登録促進について

「自然災害伝承碑」は、国土地理院で実施しております災害教訓の伝承を目的に自然災害伝承碑の情報を地形図等に掲載する取り組みです。

※詳細は、[こちらをご覧ください⇒自然災害伝承碑 | 国土地理院 \(gsi.go.jp\)](#)

この取り組みは、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減が図られることから、「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策」に資するものです。

本取り組みの趣旨を踏まえ、洪水被害等について登録を促進していただくとともに、周知・普及・活用に努めて頂きたいと存じます。

なお、[登録にあたっては、市区町村長から連絡・申請していただく必要があります。](#)

羽越災害記念碑

概要	
碑名	羽越災害記念碑
災害名	羽越水害 (1967年8月28日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1984
所在地	山形県西置賜郡小国町大字岩井沢704
伝承内容	昭和42年(1967)8月28日から29日にかけて降り続いた豪雨は日雨量532ミリを記録し大洪水となった。この未曾有の大災害により小国町では死者2名、家屋63棟全壊流失のほか、農地、交通通信施設など、被害額は当時の町予算20年分に及んだ。碑に当時の水位が刻まれている。



防災記念碑(真室川災害)

概要	
碑名	防災記念碑
災害名	真室川災害 (1975年8月6日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1979
所在地	山形県最上郡真室川町大字木ノ下
伝承内容	昭和50年(1975)8月6日、町内上流域の集中豪雨により真室川の堤防が決壊し、大滝地区では土石流が発生した。死者4人、行方不明者1人、家屋全壊53戸、床上浸水331戸、耕地等の冠水は3,407haに及んだ。



ID:06364-001

「自然災害伝承碑」の登録促進について

山形県内の登録状況(R5. 1. 5時点)

都道府県	市区町村	所在地	災害名	災害種別	伝承内容	緯度	経度
山形県	米沢市	山形県米沢市芳泉町	羽越水害(1967年8月28日)	洪水	昭和42年(1967年)8月28日から29日にわたり羽越水害をもたらした集中豪雨(米沢観測238ミリ)により、最上川が松川地区で出水した。当時木造だった新大橋が流失し、通行止め作業をしていた消防団員4名が犠牲になった。この豪雨で市内は甚大な被害を受け、数千戸の家が浸水した。	37.88786	140.12174
山形県	鶴岡市	山形県鶴岡市堅苔沢字淵ノ上	庄内沖地震(1833年12月7日)	地震・津波	天保4年10月26日(1833年12月7日)午後2時頃、庄内沖で発生した大地震で各地の沿岸を襲った大津波は、高さ約9メートルに及び、旧堅苔沢村では死者8名(溺死7、怪我1)、家屋被害38棟、船被害56艘などの大きな被害があった。この碑は犠牲者供養とともに津波が達した位置を知らせる碑として伝えられている。	38.684647	139.6377
山形県	鶴岡市	山形県鶴岡市早田字戸ノ浦606	洪水・土石流(1987年8月29日)	洪水・土砂災害	昭和62年(1987)8月29日、日本海中部に前線を伴った低気圧が東北東に進んだために、旧温海町は記録的な集中豪雨となり大水害に襲われた。住宅全壊2戸、床上浸水24戸、山林の崩壊による土石流の発生、河川堤防、道路の決壊、農地の流失等の被害があった。	38.579813	139.557808
山形県	鶴岡市	山形県鶴岡市早田字山添	洪水・土石流(1987年8月29日)	洪水・土砂災害	昭和62年(1987)8月29日、日本海中部に前線を伴った低気圧が東北東に進んだために、旧温海町は記録的な集中豪雨となり大水害に襲われた。住宅全壊2戸、床上浸水24戸、山林の崩壊による土石流の発生、河川堤防、道路の決壊、農地の流失等の被害があった。	38.567386	139.562674
山形県	鶴岡市	山形県鶴岡市大鳥字楸形	雪崩(1918年1月20日)	その他	大正7年(1918)1月20日午前4時頃、皓沢(かじかさわ)左岸の山の中腹、高さ約200mで発生した幅360mの雪崩が大鳥山山の釜夫長屋や分教場を襲った。人々は避ける間もなく建物ごと雪に埋もれ、救助作業は難航し、154名の命が奪われた。そのうち子供の死者数は65名であった。当碑に隣接して、3基の慰霊碑が並んで建立されている。	38.428627	139.75487
山形県	酒田市	山形県酒田市日吉町二丁目	庄内地震(1894年10月22日)	地震	明治27年(1894)10月22日午後5時35分、庄内地方は大地震にみまわれた。夕飯の時刻でもあったので火災も発生し、かつてないほどの大惨事となった。酒田町の過半数に当たる1747棟の家屋が全壊し、160人を超える死者が出た。庄内全体で死者700人を越し、焼失家屋も2500棟を越した。	38.919361	139.829258
山形県	最上郡真室川町	山形県最上郡真室川町大字木ノ下	真室川災害(1975年8月6日)	洪水・土砂災害	昭和50年(1975)8月6日、町内上流域の集中豪雨により真室川の堤防が決壊し、大滝地区では土石流が発生した。死者4人、行方不明者1人、家屋全壊53戸、床上浸水331戸、耕地等の冠水は3.407haに及んだ。	38.861507	140.248852
山形県	西置賜郡小国町	山形県西置賜郡小国町大字岩井沢704	羽越水害(1967年8月28日)	洪水・土砂災害	昭和42年(1967)8月28日から29日にかけて降り続いた豪雨は日雨量532ミリを記録し大洪水となった。この未曾有の大災害により小国町では死者2名、家屋63棟全壊流失のほか、農地、交通通信施設など、被害額は当時の町予算20年分に及んだ。碑に当時の水位が刻まれている。	38.056485	139.747993
山形県	西置賜郡小国町	山形県西置賜郡小国町大字玉川地内	雪崩(1782年1月30日)雪崩(1855年2月3日)	その他	天明元年(1782)と嘉永7年(1855)の二度同じ場所、ワスと呼ばれる表層雪崩に巻き込まれなくなった人々を供養するために建てられた石碑。天明元年には16名が沢に突き落とされそのうち9名が死亡し、嘉永7年には2名が死亡した。	38.03092	139.675303